

世界の人々の目を守りたい

聖ドミニコ学院小学校 六年 針谷 琉生

僕の夢は眼科医です。その夢を持つようになったきっかけは、僕が小学二年から近視で眼鏡をかけたことです。その頃はまだ学校のクラスで眼鏡をかけている人がほとんどおらず、体育や水泳などをするときにとても不便だと感じていました。いつもどうして僕だけが眼鏡をかけるなければいけないのか、と思っていました。高学年になるにつれ、眼鏡をかける友達が増え、僕も近視が進み何度か眼鏡をつくり直しました。その過程で、眼鏡をかけるのではなく近視を治す方法はないのか、と考えるようになりました。

調べてみると、日本を含めた特にアジア圏での近視の人の増加は著しく、スマートフォンやタブレット端末の普及の影響が大きいと言われています。日本では、小学六年生の約二割が裸眼視力〇・三未満という驚きの結果が出ています。しかし、末だに目薬などの簡単な方法で近視

を治すことは広まっていません。そこで僕は眼科医となり、二つのことを成し遂げたいと考えています。一つは、近視治療の研究が進んでいるシンガポールやオーストラリアへ留学し、最先端の研究をして、誰でも手軽に試すことができ、効果のある治療法を開発することです。僕は幼稚園から英語を習っていて英語が好きですが留学で使用するレベルになるにはまだまだ努力が必要だと思います。また、海外の人々とのコミュニケーションの取り方を学ぶため、今後の中学、高校生活で短期留学の機会があれば、積極的に参加したいです。

二つ目は、開発した治療法を日本をはじめ、世界中に広めることです。そのためには、英語力はもちろん、信頼される医師、人間になることが必要だと思います。新しい治療法を試すのは、誰でも怖いと思うので、患者さんに信頼してもら

えるような医師になるため、人間力を高めたいと思います。それは一日二日では培うことは難しいと思うので、今のうちから日々の生活や経験を大切にしていきたいと思います。成功だけでなく、失敗から学ぶことも多いと思うので、失敗しても単に落ち込むのではなく、友人や先生からの助言を聞いて次に生かせるように努力していきたいです。

僕の成し遂げたい二つのことを実現するのは簡単なことではないと思います。両親から与えてもらった学びの環境に感謝して、日々努力して成長していきたいと思っています。そして夢を実現させ、世界の人々の目を守る眼科医になります。

針谷 琉生のライフプラン

特異なになりたいか? **眼科医**
その理由: **世界中の子供たちが眼鏡なしで元気に過ごせるようにしたいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	12才(小6)	中学受験のための勉強をする。	小学校と塾の授業料
2024年	13才(中1)	中学校入学 勉強と部活の両立をする。	中学校と塾の授業料
2025年	14才(中2)	学校の勉強は授業の予習復習しか行わない。英語の勉強を更に深める。	〃
2026年	15才(中3)	中学校入学 高校入学に向けての勉強を頑張る。	〃
2027年	16才(高1)	高校入学 医学部に進学できるように、勉強を進める。	高校と塾の授業料
2028年	17才(高2)	医学部進学のための勉強をする。英語の勉強は更に進める。	〃
2029年	18才(高3)	医学部に現役合格するためにこれまでの集大成を発揮する。	〃
2030年	19才(大1)	医学部入学	大学の入学金、授業料
2031年	20才(大2)	解剖の授業で人体について学ぶ。	大学の授業料
2032年	21才(大3)	留学のための英語の勉強をする。	〃
2033年	22才(大4)	夏休みに短期留学をする。医学の専門知識を深める。	〃
2034年	23才(大5)	病棟での実習を開始する。	〃
2035年	24才(大6)	医師国家試験合格の勉強 医師免許取得!	〃
2036年	25才	初期研修医となる。初めて給料をもらう。	医学書代、生活費
2037年	26才	研修医として様々な科目の知識を学ぶ。	〃
2038年	27才	眼科に入学し眼科医としての知識を深める。留学に向けて準備を進める。	〃
2043年	32才	最先端の研究をして海外の病院に留学して研究に没頭する。	〃